

## 編集委員会から

### タイトル重要

論文や記事、書籍などにはタイトル（題名）がついています。本文を読んでもらうためには、タイトルは読者に魅力的であることが望まれます。科学技術分野の論文ではタイトルは本文の内容を的確に表すことが求められます。「名は体を表す」とも言われます。論文以外、たとえば、特許では請求項の記述が重要であるため、「発明の名称」だけでは内容が分かりにくい場合もあります。また、書籍では販売部数が増えるように担当の編集者が知恵を絞ってタイトルを付けられるとお聞きします。小説などでは話の流れが「起承転結」と進み、タイトルでは「結」（「起」から「転」している）が分からないようになっていくことが多いですが、科学技術分野の文章の流れは「起承結」ですので「起」や「結」（「起」から「転」せずに対応している）が分かるようなタイトルが望まれます。

現在、オープンアクセスの有無に関係なく、学術雑誌掲載の論文のタイトルは各出版元のウェブページで閲覧できることが多いです。30年前はインターネットが普及しておらず、各種の書籍体もしくはオンライン型の有料データベース（Chemical Abstracts や Current Contents, など）を用いて、キーワードを手掛かりに目的とする論文を検索していました。現在はインターネットの検索エンジンを用いるとウェブページに掲載されている論文のタイトルにもヒットします。学術雑誌のウェブページではタイトルに加えてキーワードやアブストラクトも公開されている場合も多いのですが、多数の類似の論文や記事の中から選んで読んでもらうためには、検索して最初に目に入るタイトルが重要ではないでしょうか。「原稿執筆の手引き」に記載していますが、日本食品工学会誌の論文では和文・英文のいずれの論文にも、和文と英文のタイトル（表題）を付けていただいています。両タイトルとも読者の方に有益な情報になるようにお考え下さい。

さて、前回（第22巻第4号）の「編集委員会から」では、「…詳しくは「日本食品工学会誌投稿規定」をご覧ください（毎年、会誌第1号に掲載されますが、日本食品工学会ホームページからもご覧いただけます）」とお伝えしたのですが、2022年（第23巻）からは、各巻第1号に掲載していた定款や規程（論文投稿規定や原稿執筆の手引きも含む）は原則として学会ホームページ（リニューアル準備中）からご覧いただくことになりましたのでお知らせします。この文章を書いている2月中旬現在のホームページでも定款、論文投稿規定、および原稿執筆の手引きは掲載されています。また、第4号掲載の個人会員名簿も個人情報保護のために不掲載になる予定です。

よろしく願いいたします。

（新潟大学 田中孝明）